



2019

横浜市立大学 ボランティア支援室

報告書



Student Office



横浜市立大学 ボランティア支援室

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2
YCUスクエア1階カウンター&2階S27「Volounge」
Tel:045-787-2444 Fax:045-787-2093
Mail : volunteer@yokohama-cu.ac.jp



ボランティア支援室 HP



ボランティア支援室 FB



ボランティア支援室 Twitter

公立大学法人横浜市立大学ボランティア支援室 2020年3月発行

ボランティア支援室の ご紹介



横浜市立大学 ボランティア支援室の活動

横浜市立大学は地域に根ざす公立大学として、基本方針のひとつに「地域貢献」を掲げています。地域の方々からのボランティア等のご依頼も多く寄せられる中、それらのニーズにワンストップで応えるため、2015年1月ボランティア支援室を開室し、2019年度で5年が経ちました。2018年度からは機構改編により、地域貢献担当から学生担当に移管され、より学生に向き合いながらボランティア・コーディネートを行っています。

当支援室の主たる活動は、地域の団体からのご依頼と、ボランティアをしたいという学生のコーディネートです。ご依頼の中には時に非常にニッチなものもありますが、それらも渡らさないよう受け付けることを心がけています。また、相談に来ていくつかの情報をもち帰った学生に対してはその後もフォローを継続し、学生に寄り添いながら活動とのマッチングを行っています。

昨今学生の相談の中には、ボランティアに関するだけでなく、キャリアにつながるものや時にはプライベートに関するものも含まれるようになってきました。そのような場合は各部署にリファーするなど、大学の一部署としての機能を発揮しながら、学生のサポートを行っています。

そのほか、当支援室主催の自主プログラムである「ボランティア実践講座」や「ボランティアをキャリアにつなげるワークショップ」、ボランティア支援室学生スタッフVolunchの自主活動、行政や団体と協働してのプロジェクトなどの企画・運営も行い、さまざまな角度から地域の課題を考え、また学生自身の学びをサポートしています。



横浜市立大学 独自のボランティア参加のしくみ

当支援室では、地域の団体に登録をお願いし、ボランティアの依頼内容は「依頼書」をいただいて、学生にポータルメールやSNS、「学生マイページ」等で随時お知らせしています。一方、ボランティアを希望する学生にもボランティア登録を呼びかけており、登録後はいつでも「学生マイページ」から、募集中のボランティアを検索することができます。

希望する活動が決まった学生には必ず、その活動の「リスト番号」を来室かメールで問い合わせてもらいます。そうすることで、当支援室のスタッフが学生と直接顔を合わせて相談に対応したり、もしくはメールで先方の連絡先や活動の詳細を伝えるなど、学生とのコミュニケーションを大切にサポートが可能となっています。

「学生マイページ」上には各自の感想や学びを記録するページもあり、活動終了後は学びをより深く地域の課題を「自分事」として考えられるよう、感想やエピソードを文字化しておくように伝えています。

総学生数が学部生・院生合わせて約5,000名と、比較的コンパクトな大学ということもあり、学生の登録と活動参加状況（「活動届」の提出）、団体の登録と依頼状況（「活動依頼書」の提出）それぞれをクラウド上で管理して、各学生の活動の詳細を「見える化」しています。

学生のキャリアを見据えた ボランティア活動のサポート

当支援室では、地域からの声に耳を傾けきめ細やかに対応するとともに、学生が自主的にボランティア活動を行うことで地域の課題の解決や、さまざまな年齢・環境の方々とのコミュニケーションの実践経験を積み、自らのキャリア形成に役立ててもらうことも目指しています。そのために上記のような活動の「見える化」によって、学生のボランティア活動への関心がどこにあるのか、またどのような学びを得たのかをスタッフが把握し、それをまたコーディネートに活かしていけるようなサイクルを作っています。

このようなクラウド管理による活動の「見える化」によって学生の活動履歴を残すことが可能となり、「ボランティア証明書」を発行しています。学生は、この証明書を就活等の場面で利用することも可能です。



2019年度のボランティア支援実績

◆学生のボランティア登録数・派遣数・ボランティア依頼数実績

2020年3月13日現在

年 度	新規登録学生数	派遣学生数	ボランティア依頼数
2015年度計	164名	349名	181件
2016年度計	259名	235名	140件
2017年度計	327名	443名	287件
2018年度計	363名	490名	271件
2019年度計	459名	572名	238件
累 計	1,572名	2,089名	1,117件

※ボランティア支援室が開設した2015年1月15日～3月分は2015年度計に計上
※2015年度～2018年度卒業生 381名含む

◆2019年度 学生相談件数(来室相談)/307名



◆2019年度 学生のボランティア参加活動例(抜粋)

カテゴリー	活動名	団体名	形態	活動日	参加学生数
1. まちづくり・イベント支援	スマートイルミネーション横浜2019運営補助ボランティア	横浜市文化観光局	単発	10月30日～11月6日	3名
2-1. 学習支援	複合的課題を抱える小中高校生の学習支援	特定非営利活動法人教育支援協会南関東	継続	定期的に参加、週1回から	12名
2-1. 学習支援	師岡子ども学習会学習支援ボランティア	師岡子ども学習会	継続	毎月第3日曜日、8月休み、13:00～16:30	4名
2-1. 学習支援	寄り添い型生活支援ボランティア	公益財団法人よこはまコース	継続	平日15:00～19:00、活動頻度は週1～	2名
2-1. 学習支援	その他の学習支援	湘南とつかYMCA、港北ベッキョウ会、レクタス、富岡中学校等	継続	団体による	4名
2-2. 子ども・青少年支援	よこはま教育実践ボランティア	横浜市教育委員会	単発	4月～3月	3名
2-2. 子ども・青少年支援	夏休み自然体験キャンプボランティア	公益財団法人育てる会	単発	7月23日～8月22日	3名
2-2. 子ども・青少年支援	「第3回子どものいのちと向き合うチャリティコンサート」運営	特定非営利活動法人横浜子どもホスピスプロジェクト	単発	11月23日	6名
2-2. 子ども・青少年支援	こどものまち「ゆめゆめシティ」サポートボランティア	社会福祉法人こどもの国協会	単発	12月1日	4名
2-2. 子ども・青少年支援	「やってみよう!のじボラ」野島青少年研修センターのボランティア	横浜市野島青少年研修センター	継続	2019年4月から2020年3月	2名
3. 障害児・者支援	病児と遊びの研究会「ワークショップ」お手伝い	特定非営利活動法人横浜子どもホスピスプロジェクト	単発	8月12日	2名
3. 障害児・者支援	障害のある方への生活支援・外出支援	特定非営利活動法人地域生活センター	継続	月に何回でも、自分の都合の良い日時	2名
6. 安全・防災・被災地支援	大学間連携災害ボランティアネットワーク2019夏季集中ボランティア	大学間連携災害ボランティアネットワーク	単発	8月4日～9月4日	1名
6. 安全・防災・被災地支援	「横浜市金沢区」台風15号災害支援ボランティア	台風15号災害 横浜市金沢区工業団地を救う会	単発	不定期開催、9:00～15:00	1名
6. 安全・防災・被災地支援	川崎市災害ボランティアセンター事務局支援ボランティア	特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク	単発	10月24日以降の活動希望日	1名
6. 安全・防災・被災地支援	ながつプロジェクト「台風15号/19号災害支援日帰りボランティア」	公益財団法人日本学生ボランティアセンター(Gakuvo)	単発	11月2日～12月1日	2名
7. 文化・芸術・スポーツ	クリスマスミニコンサート(センター病院)演奏パフォーマンス	横浜市立大学附属市民総合医療センター	単発	12月24日(火)	3名
7. 文化・芸術・スポーツ	横浜市立大学管弦楽団第50回記念定期演奏会受付補助	横浜市立大学管弦楽団	単発	12月25日(水)	2名
8. 国際交流・多文化共生	ラグビーWCスコットランドのラグビーハウス&ファンゾーン運営補助	スコットランド国際開発庁	単発	9月20日～10月13日	延べ15名
8. 国際交流・多文化共生	チャリティショップ「WEショップ」での身近な国際協力体験	特定非営利活動法人WE21ジャパン	継続	月曜～土曜(10:00～17:00位)	2名
8. 国際交流・多文化共生	「外国にルーツがある子ども」たちの学習支援	わたぼうし教室横浜	継続	毎週土曜、10:00～12:00	5名
8. 国際交流・多文化共生	留学生対象日本語授業のボランティア(前期・後期)	横浜市立大学鈴木綾乃特任准教授	継続	4月～7月、9月～1月	22名

ボランティア支援室の活動

新歓及びボランティア支援室周知のためのさまざまな説明会を開催

はるボラ 2019

4月16日～5月15日

- ◆「ボランティア支援室説明会」/4月16日、5月15日/計68名参加
- ◆外務省アフリカ部 TICD7 事務局による「TICAD7 第7回アフリカ開発会議ボランティア説明会」4月24日/約140名参加
- ◆「ボランティア団体合同説明会」4月19日、22日、25日/計78名参加

2019年度開始にあたり、「はるボラ 2019」と名付けた新歓&ボランティア活動周知キャンペーンを行いました。ボランティア支援室説明会では、本学におけるボランティア参加方法の説明や地域活動の際に気をつけなければならないこと現在募集中の活動の紹介などを「学生ボランティア

マニュアル」を配布して説明しました。

また初の試みとなったボランティア団体合同説明会では、3日間計30団体に来校いただき、ブースを作って学生に回遊してもらう方式の説明会を開催。団体間のコミュニケーションも盛んに行われ好評を得ました。その他、各教員の皆さんとの連携により、授業内でのチラシ配布と説明を行うなど、各キャンペーン活動には多数の新入生はもちろん上級生も参加し、その結果4月のボランティア登録学生数は272名に上りました。



ボランティア団体合同説明会



ボランティア団体合同説明会

ボランティア支援室の活動

学生の関心が高い学習支援活動の団体による合同説明会「mini」を開催

あきボラ 2019

11月20日

- ◆「学習支援ボランティア団体合同説明会 mini」/計10名参加

市大生に特に人気のある活動が、子どもたちへの学習支援活動です。後期は、5団体に来校していただき、ブースとアピールタイムのプレゼンにより、学生に向けて活動を紹介していただきました。

あきボラは、学食のあるシーガルセンターで開催しました。



学習支援ボランティア団体合同説明会 mini



TICAD7 第7回アフリカ開発会議ボランティア説明会

ボランティア支援室の活動

ボランティア初心者向けの座学・実践・振り返りをセットにした3Stepの講座

ボランティア 実践講座

Step1/4月23日



- ◆基礎講座 / 金沢八景キャンパス YCUスクエア・Y202 教室 /13名参加

第4回目となる、ボランティア支援室主催のボランティア初心者向け講座を開催しました。金沢区社会福祉協議会と連携した福祉系ボランティアを紹介する講座で、Step1は1時間半の座学。ボランティアに行ってみたくて、実際にどう活動すればいいのかわからない、どのようにコミュニケーションを取ればいいのか...といった不安や疑問を解消するために、ケアプラザ・コーディネーターからの活動紹介や、先輩の経験談を聞く時間を設け、実際に体験する活動を選んでもらいました。

ボランティア 実践講座

Step2/5月7日～6月8日

- ◆ボランティア体験 / 区内各ケアプラザ等 / 延べ29名参加

Step2では区内の各ケアプラザ(9か所)をはじめとする、「障害児・者支援」「高齢者支援」「学習支援以外の子ども・青少年支援」に関連する37のプログラムの中から、各自好きなプログラムを選んで参加しました。ここで経験した体験から、その後継続的な活動につながった例もありました。



ボランティア 実践講座

Step3/6月11日

- ◆振り返りワークショップ / 金沢八景キャンパス YCUスクエア・Y202 教室 /12名参加

Step3では、それぞれの経験を1時間半のグループワークで共有して言語化・文字化し自分の中の振り返りや具体的な学びを確認しました。

また、引き続き参加できる福祉関連ボランティアを紹介したことにより、2019年度は「障害児・者支援」「高齢者支援」「学習支援以外の子ども・青少年支援」活動に延べ63人がボランティアとして参加し、学生にとって少々ハードルの高い福祉関係のボランティアへの関心を高める成果がありました。



ボランティア支援室の活動

アフリカ 53 国の
首脳級代表による
国際会議に100名の
ボランティアが参加

TICAD7

8月24日～30日

◆TICAD7 第7回アフリカ開発会議 /

みなとみらい・パシフィコ横浜周辺 / 100名参加

TICAD7 は日本が主催する最大規模の国際会議で、アフリカ 53 国の首脳級の代表、52 か国の開発パートナー諸国、108 の国際機関や地域機関の代表、NGO 等市民社会の代表等 約 10,000 名が集まり、アフリカの経済・社会・平和と安定などについて、熱気に満ちた議論や会談が行われました。

この TICAD7 の運営を担う外務省アフリカ部 TICAD7 事務局の仕事に、本学から 100 名の学生がボランティアとして参加しました。活動の内容は多岐にわたり、司令塔であるロジ室総括及び総務班の事務補助をはじめ、本会議場での議場支援や通訳・通訳補助、レセプション等を仕切る行事班、サイドイベントやバイ会談及びビジネスイベント支援、広報、各国代表の配偶者をサポートするプログラムの担当等に分かれ活動しました。国際会議ならではの緊張と熱気と興奮を肌で感じ、貴重な体験ができました。※参加した学生の感想・コメントは右の QR コードよりご覧ください。

7月1日に行われたボランティア・オリエンテーションで、学生ボランティアを代表して決意表明をした岡本姫佳さん(4年)。



TICAD7 ボランティア参加学生の感想



【パシフィコ横浜会議センター内ロジ室】

ロジ室(執務室)は、会議に関わるすべてを統括する指令室です。

◆総務班

各班への連絡や調整、会議日程を整理し伝えるなど、メールや無線を活用する活動もありました。



【パシフィコ横浜展示ホール2階(バイ会談室)】

◆総務班第三国バイユニット

第三国のバイ会談(アフリカ同士、アフリカ各国と企業、日本以外の第三者など)の予約受付や会議室の割り当て、管理業務など。各部屋の整備や案内、入室の確認等も併せて行いました。



【パシフィコ横浜会議センター・ロイヤルパークホテル等】

◆行事班

歓迎レセプションやデレゲーションランチ、総理晩餐会などの出演者(KIMONO ガールズ) 誘導や VIP 動線での待機や案内、KIMONO ガールズの控室管理などを行いました。また、総理夫人や各国首脳の配偶者プログラムの運営補助も行いました。



ボランティア支援室の活動

ラグビー
ワールドカップの
盛り上げに役！
大会関連のさまざまな
活動に従事

ラグビー WC2019

4月18日～21日



ラグビー WC2019

4月18日～21日

◆子どもラグビーフェスティバル / 日産スタジアム他 / 延べ14名参加

日産スタジアムで行われたミニラグビー(U-12)の試合で、ニュージーランド、オーストラリア、イングランド、スコットランド、イタリア、インドネシアから来日したジュニアのチームに帯同し、日本語・英語でのコミュニケーションや、ラグビーの練習をサポートしました。



ラグビー WC2019

10月26日～11月2日

◆横浜ラグビーフェスタ・横浜市ブース / 新横浜駅前 / 延べ15名参加

横浜国際競技場で行われた準決勝・決勝時に、新横浜駅前に設置された横浜市の PR ブースで、観客の案内などを行い、各国から来日した観客があふれる“異国”のような雰囲気の中で楽しく活動しました。当初は10月12日と13日にも予定されていましたが、台風の影響で残念ながら中止となりました。

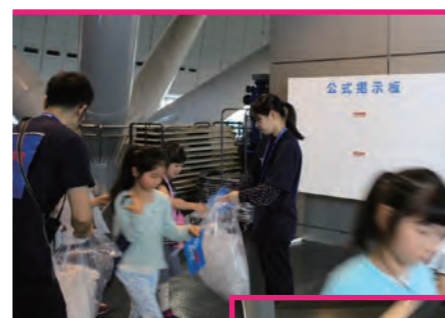


TICAD7 記念写真展

7月24日～8月4日

◆世界銀行主催第7回アフリカ開発会議(TICAD7)開催記念写真展 / みなとみらいギャラリー / 7名参加

世界銀行主催の写真展「アフリカ、胎動する大陸 ドルテ・ヴェルナー×渡辺貞夫」で、本学の学生ボランティア7名が、世界銀行職員の方とともに、受付や案内などの活動をしました。



ボランティア支援室の活動

横浜国際プールで、
英国競泳チームの
世界選手権プレ事前
キャンプをサポート

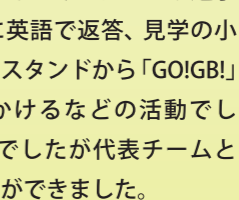
英国競泳チーム プレ事前キャンプ

7月8日～16日

◆英国競泳チームプレ事前キャンプ/横浜国際プール他 / 延べ12名参加

英国競泳代表チームが、韓国・光州で開催された世界水泳選手権 2019 に向けたプレ事前キャンプを実施し、延べ12名の学生がボランティアとして参加しました。朝は選手の出迎えから始まり、練習中はプールのそばでスタッフや選手

からの質問に英語で返答、見学の小学生と一緒にスタンドから「GO!GB!」と掛け声をかけるなどの活動でした。短い時間でしたが代表チームと触れ合うことができました。



ボランティア支援室の活動

早朝からの選手受付と表彰式会場で、トライアスロン世界大会の運営をサポート

世界トライアスロン

5月19日



◆2019 ITU 世界トライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会 / 山下公園周辺特設会場 / 11名参加

東京 2020 オリンピック・パラリンピック出場に向けてのポイント獲得レースでもある、2019 ITU 世界トライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会。一般参加者による、エイジ(年齢別)の「スタンダード」「リレー」「スプリント」そして「バラ」のレースが行われた2日目の運営サポート・ボランティアに、本学から11名が参加しました。

早朝 5:45 に集合しての選手受付の後、午後には表彰式会場で副賞のお渡しをしました。一般の方は入れないエリアに入れる、特別感を味わうことのできる活動でした。



◆横浜シーサイドトライアスロン / 横浜八景島シーパラダイス周辺特設会場 / 一般ボランティア6名、写真撮影ボランティア2名、料理部

本学の地元ともいえる、横浜八景島シーパラダイスを舞台に開催されている市民参加のトライアスロン・パラトライアスロン大会。一般ボランティアでは後半はゴールテープの担当として、選手に最も近い場所で声援を送りながら活動しました。

写真撮影ボランティアに参加した2名は、公式報告書用の記録写真の撮影を担当。また、料理部は完走者に「かわめと豚バラのスープ」を提供しました。



撮影：写真撮影ボランティア 総谷勇貴さん(大学院2年)



撮影：写真撮影ボランティア 片桐駿平さん(大学院2年)

ボランティア支援室の活動

八景島を舞台にしたレースで、選手誘導とゴールテープ、記録写真の撮影、スープ提供を担当

横浜シーサイドトライアスロン

9月29日



ボランティア支援室の活動

手荷物返却や沿道BLS隊、フィニッシュ手前のパフォーマンスなどでランナーを応援

横浜マラソン

11月10日

◆横浜マラソン2019/メイン会場・パシフィコ横浜 /

- 一般ボランティア/39名参加
- BLS(救護ボランティア)/6名参加
- パフォーマンス/4団体参加

“市民参加型のフルマラソン”となって5回目となる2019年の横浜マラソンは、11月の快晴の中行われました。2016年から大学として関わっているボランティア活動ですが、今年是一般ボランティアはパシフィコ横浜内の選手手荷物返却、救護ボランティアは沿道でBLS隊の活動を行いました。

手荷物返却では、選手の方々にお待たせすることがないように、チーム内で連携しながら手早く渡す工夫を重ね、完走した選手の方々と直接触れ合える活動の中で、たくさんの感動のおすそ分けをもらうことができました。

またゴール手前の「盛り上げ隊」として応援団リーダー部、応援団チアリーダー部、ピアノ会、Second Wind Jazz Orchestra が参加し、ゴール目のラストスパートをバックアップしました。



Second Wind Jazz Orchestra



応援団チアリーダー部



ピアノ会(ピアノカ隊)



応援団リーダー部



ボランティア支援室の活動

プログラミングに興味・
関心のある小学生に、
マウスの扱い方から
丁寧にサポート！

子ども プログラミング教室

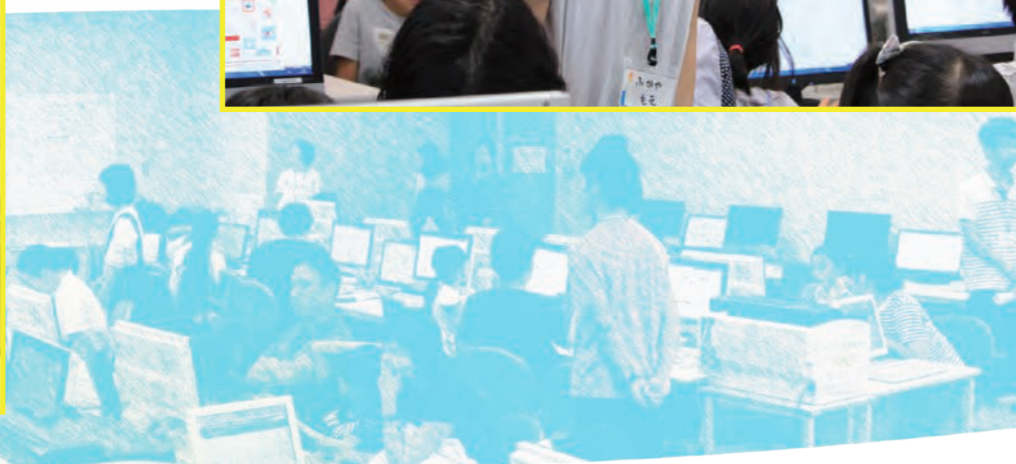
8月17日



◆子どもプログラミング教室 / 金沢八景キャンパス情報教育実習室E / 8名参加

今年で4回目となる、金沢区内の小学生に大人気の「子どもプログラミング教室」。今年も元気な小学生とご家族など午前18組(低学年)、午後15組(高学年)に、ページを行き来するアプリ作りをサポートしました。

最初はお互い緊張していましたが、子どもたちも徐々に心を開き質問してくれるようになり、学生たちもうれしそうでした。作ったページがうまく表示されないとき学生たちが手早く直してあげると、子どもたちは驚きと憧れの目でお兄さん、お姉さんたちを見ていました。



ボランティア支援室の活動

ボランティア活動の体験を
自分自身のキャリア形成に
役立ててもらうための
ワークショップ

ボラ×キャリア ワークショップ

11月29日

◆ボランティア支援室主催キャリアワークショップ～ボランティア活動を「言語化→文字化」してキャリア探しに役立てよう～ / 金沢八景キャンパス YCUスクエア・Y401 / 10名参加

ボランティア活動に携わることは、社会課題に向き合い、そこに携わるさまざまな立場・環境の人たちと力を合わせてそれを解決する実践の場でもあり、インターンシップなどと同様に、自己形成支援の効果があります。そのような経験を自分自身のキャリア形成(職業選択・就活等)に役立ててもらうことを目的とした、ボランティア支援室独自のプログラムです。

3年目となる今年は、学生がボランティア活動に自分なりの意味づけをして参加し、経験したことを「まなび」として「言語化→文字化」する習慣を身につけられるようなワークショップを開催しました。

また学生の身近なロールモデルとして、ボランティア支援室で学生スタッフとして活動してきた4年生に、ボランティア活動をどのように就活に活かしたかを語ってもらいました。

7月12日と12月13日には「キャリア形成実習b」の授業の中でも、ボラ×キャリアワークショップの一部を、約80名(各日)に講義しました。



「キャリア形成実習b」の授業

ボランティア支援室の活動

継続性が重視される
学習支援活動は
学生に人気！
2019年度は
18プログラムを紹介

学習支援

4月～2020年3月

◆学習支援活動 / 各施設 / 延べ22名参加

子どもたちに寄り添い、勉強を教えたり宿題をみたり、またもっと広く、子どもたちの学校生活の悩みや進路の相談にのることもある学習支援活動。「歳の近いお兄さん・お姉さん」たちによる活動は子どもたちの心の支えになることが、各団体から報告されています。

2019年度は地域から依頼のあった18のプログラムを紹介し、学生はその中から活動の場所や曜日、生徒・児童の学年、教科などそれぞれの条件から選んで自主的に参加しています。



ボランティア支援室の活動

グローバル推進室と
連携した、アジア各国
約100名の高校生との
交流プログラム

さくら サイエンスプラン

7月12日

◆「さくらサイエンスプラン」アジアからの高校生との交流ボランティア / 金沢八景キャンパス内 / 19名参加

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)主催のさくらサイエンスプラン・ハイスクールプログラムの一環として、アジア各国から選ばれた高校生、約100名と市大生の交流イベント。ボランティアの学生がすべて英語で、キャンパスツアーや、日本の大学生の生活を紹介します。



Volunch の活動

Volunch メンバーと一般学生が「事前」&「事後」に交流会を行い、一緒に参加する活動

ボラツアー

ボラツアー 2019 Vol.1/5月18日・19日

◆ボラツアー 2019 Vol.1「よこすかカレーフェスティバル」/ 横須賀市三笠公園 / 延べ50名参加

2日間で約25,000人が来場する大型イベントで、ブース内の綿あめ・ヨーヨー・ポップコーンの販売や、着ぐるみ数体を使った会場内の巡回などを行いました。新入生の参加も多かったのですが、子どもたちと写真を撮ったり遊んだり、それぞれの担当の活動を楽しみながら行いました。しかし逆に参加した学生が多く、コミュニケーションの面で反省点もありました。



子どもたちと写真を撮ったり遊んだり、それぞれの担当の活動を楽しみながら行いました。しかし逆に参加した学生が多く、コミュニケーションの面で反省点もありました。

ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」とは

ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」は、「ボランティアの楽しさを発信し、地域と市大生をつなげる」「ボランティアに参加することで自分の経験値をあげる」のふたつを目標に掲げ、活動しています。具体的な活動内容は、ボランティア経験のない(浅い)学生と一緒にボランティアに参加する「ボラツアー」の企画・運営や、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、市大生や地域の機運醸成を目指す活動、他大学との交流などです。ボラツアーでは、当日一緒に参加するだけでなく、さまざまなボランティアカテゴリーから実施する活動を選ぶことから始まり、団体との打ち合わせや事前の顔合わせ、活動内容の共有、当日の活動、事後の振り返りとその後につなげるボランティアの紹介を、一連のプログラムとして実施しています。



ボラツアー

ボラツアー 2019 Vol.2/6月16日・22日

◆ボラツアー 2019 Vol.2「ホタル観賞会」/ 金沢自然観察の森 / 延べ8名参加

現地のスタッフの方と協力しながら紙芝居を通して地域の方たちにホタルの生態と自然の大切さを伝え、ホタル観賞を楽しんでもらう活動でした。雨天延期のため、16日は1年生だけで行くことになりましたが、担当したVolunchの1年生メンバーにとっては良い経験となったようです。



ボラツアー

ボラツアー 2019 Vol.3/8月24日

◆ボラツアー 2019 Vol.3「金沢まつり花火大会」/ 海の公園 / 26名参加

花火大会のボランティアは、翌年の花火大会に向けた募金を来場者に呼びかけるという活動です。学生だけでなく、様々な年齢の地域の方々も多く参加しており、初参加の学生が多い中、積極的に声をかけてリラックスさせて下さった地域の方々の優しさに、ボランティアに参加するときに大切な姿勢を教わりました。



ボラツアー

ボラツアー 2019 Vol.4/10月26日・27日

◆ボラツアー 2019 Vol.4「YOKOHAMA Bay Dream 電動車椅子サッカー」/ 町田総合体育館・横浜ラポール / 延べ12名参加

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツボランティアやパラスポーツへの関心を高めたいという思いと、福祉ボランティアに興味を持ちながらも機会がなかった学生に参加してほしいと企画しました。新しい刺激や、選手・保護者の皆さんの優しいサポートのおかげでとても温かい気持ちになり、今後もパラスポーツに関わり続けていきたいと決意を新たにしました。



ボラツアー

ボラツアー 2019 Vol.5/11月16日

◆ボラツアー 2019 Vol.5「第1回横浜リレーマラソン in 赤レンガ」/ 赤レンガパーク特設会場 / 6名参加

第5回ボラツアーは、リニューアル後初めて開催される大会のお手伝いでした。初開催のイベントは、周りに経験者がいなかったり前例がなかったりイメージがわきにくいのですが、事前に主催者の方が大学にいらして活動内容の説明をしてくださったので、ボランティアに求められていることを深く理解でき、多くの疑問が解決されました。主な活動は会場やコースの設営など運営にかかわる様々なお手伝いで、早朝からの準備、レース中の観光客やランナーの家族を安全に誘導するなど、お互い楽しみながら活動し、つながりを感じる瞬間を多く作り出せました。



ボラツアー

ボラツアー 2019 Vol.6/12月21日・22日

◆ボラツアー 2019 Vol.6「横濱キャンドルカフェ」/ みなとみらい運河パーク・汽船道パーク / 延べ13名参加

毎年クリスマスの時期に開催される、横浜市最大級のイベント・ボランティアに参加し、人と人とのつながりを大切にしている活動を実感してきました。「ドリーミングシート」や「未来への手紙」によって、訪れた方にその時の気持ちや光景を記録に残してもらえることが、現在と未来を繋ぐイベントになっているのではないのでしょうか。



Volunch の活動

フェリス女学院大学ボランティアセンター学生スタッフ・神奈川大学学生ボランティア活動支援室学生スタッフとの交流ワークショップ

他大学交流

9月28日

◆他大学交流 / フェリス女学院大学緑園キャンパス / 4名参加

フェリス女学院大学、神奈川大学、そして横浜市立大学のボランティア支援室・ボランティアセンターの学生スタッフが、学生同士の交流や、ボランティアの情報交換を目的に集まりました。各大学の活動報告のあと、地図を描くワークショップを行いました。2つの大学はマルシェやお祭りなどの地域交流イベントに積極的に参加しており、その点を参考にしたいと思いました。



Volunch の活動

Volunchと
医学部ボランティア
サークルによる、
応急手当実践法の
ワークショップ

スポボラ 講習会

5月6日



◆スポーツボランティア講習会/金沢八景キャンパス YCUスクエア・ピオニーホール/地域の方&市大生合計15名参加

オリンピック・パラリンピックやスポーツボランティアに参加したときのために、熱中症や脱水症等に対する知識や予防方法を学び、実際に現場で発症した人がいたときに適切な応急手当を行うための講習会を開催しました。

1部は医学部のボランティアサークルYDCによる医療や健康への正しい知識を身につける講義と症状別ケースワーク、2部は1部で学んだリスクと対策を踏まえ、心肺蘇生やAEDの使い方、止血方法、急病人の対処等をグループで考えるロールプレイングを行いました。



Volunch の活動

金沢区地域振興課との
共催で、陸上競技
苧部俊二さんの
講演会をサポート

オリ・パラ 講演会

7月5日

◆「あのリオ2016大会日本男子4×100mリレーを銀メダルに導いた!苧部俊二氏による講演会」/金沢八景キャンパスシーガルホール/地域の方約60名&市大生約20名参加

2016リオ・オリンピックに日本陸上競技のコーチとして帯同され、男子4×100mリレーを銀メダルに導いた苧部氏による講演会の周知活動と進行を、Volunchメンバーが担当しました。当日、会場には地域の方々も多く集まり、苧部さんから陸上

選手・指導者としての経験談や、東京2020に向けての日本陸上界のお話などが聞けました。

お昼休みにはキャンパス内で、Volunchと一緒に、YCUのキャラクター・ヨッチーと金沢区のキャラクター・ぼたんちゃんもチラシまきを手伝ってくれました。



Volunch の活動

横浜紙芝居普及会と
Volunch&美術部が
連携したオリ・パラ
機運醸成活動

創作紙芝居 普及活動

2017年7月~

◆創作紙芝居新作お披露目会/湘南モールフィル

2017年の7月より、東京2020オリンピック・パラリンピックの参画プログラムとして取り組んでいる活動。2019年度は1964年の東京オリンピックで起こった実際のエピソードをもとに、Volunchメンバーの加藤奈華さん(2年)が物語を作り、美術部の原田安美さん(3年)がそれに絵を描いた新作「人間愛の金メダル」が完成。藤沢市内の各所で「横浜紙芝居普及会」メンバーと一緒に、上演活動を行っています。



Volunch の活動

1年生の発案で
ボランティアに興味の
ある市大生向けの
ボランティア説明会を
開催

ボランティア 全体説明会& 個別相談会

10月14日・21日

◆ボランティア全体説明会 10月14日/金沢八景キャンパス YCUスクエア・ピオニーホール/5名参加

◆ボランティア個別相談会 10月21日/金沢八景キャンパス YCUスクエア・ピオニーホール/1名参加

大学入学後半年たったVolunchの1年生メンバーが、在学生向けにボランティア説明会を企画しました。1日目は募集中のボランティアをジャンルごとに紹介し、上級生による体験談も披露してもらいました。2日目は個別の相談会ということで、相談者に1対1で向き合っ説明などしました。



Volunch の活動

5人制(ブラインド)
サッカーチーム、
buen cambio
yokohamaと
コラボした体験会

スポ・ボラ 講演会&体験会

12月15日

◆5人制(ブラインド)サッカー講演会&体験会/金沢八景キャンパス大会議室・総合体育館/地域の方10名&市大生13名参加

東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、パラスポーツに対して参加者皆で理解を深めること、そして参加者にパラスポーツの楽しさを知ってもらい、応援するきっかけを作ることを目的として開催しました。

buen cambio yokohamaの担当者と何度も打合せをして当日のプログラムを組み立て、5人制(ブラインド)サッカーというスポーツへの理解が深まりました。

